

# 港湾空港局

一般会計要求総額	6,799百万円 (前年度比+24.9%)
特別会計要求総額	5,562百万円 (前年度比+9.1%)
合計	12,361百万円 (前年度比+17.3%)

## 【平成29年度 予算要求の経営方針】

「北九州港」と「北九州空港」という二つの「みなと」を最大限に活用し、「元気発進!北九州」プランの推進を図るとともに、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「北九州市新成長戦略」に掲げた施策を着実に実行していきます。

## 【平成29年度 予算要求の基本的な考え方】

### 1 北九州港 ～ 競争力のある港づくりの推進

要求額（一般会計、特別会計）11,365百万円（対前年度 14.9%）

#### ●更なる物流拠点化の推進・北九州港の利用促進（航路網の充実など）

東九州自動車道の開通やフェリーの大型化などの好機を逃すことなく、戦略的なインセンティブにより、国際コンテナ、国際RORO船の航路誘致や、環境・エネルギー産業の拠点化等による集貨・創貨を図る。

- ・㊦ 北九州港集貨航路誘致事業、国際RORO航路誘致事業、響灘及び新門司埋立地整備等事業

#### ●響灘地区におけるエネルギー関連産業の拠点の形成

響灘地区において、風力関連産業の総合拠点形成を目指す。また、バイオマス火力発電所の立地など、バイオマス発電関連産業の拠点化を目指す。

- ・㊦ 響灘洋上風力発電拠点化推進事業、㊦ バイオマス発電関連等響灘地区産業拠点化推進事業

#### ●市民生活を守る港づくり、港の賑わいづくり

響灘東地区処分場を整備するほか、海岸（高潮）事業などにより、市民生活や企業活動を支える港づくりを目指す。

また、大型クルーズ船等を誘致し、市内への観光客の増加を図り、賑わいを創出する。

- ・響灘東地区処分場整備事業、㊦ 海岸（高潮）事業、港湾施設保安対策事業
- ・㊦ クルーズ船誘致事業



（ひびきコンテナターミナルに寄港したクルーズ船）

#### ●港湾施設の整備・効果的かつ効率的な維持管理

市民生活や企業活動を支える重要なインフラである港湾施設（岸壁・防波堤等）について、必要な施設整備を行うとともに、老朽化に対する効果的かつ効率的な維持管理を行う。

- ・国直轄事業負担金、港湾施設整備事業（補助）、㊦ 港湾施設健全化対策事業、㊦ 航路白地/浚渫対策事業

### 2 北九州空港 ～ 北九州空港将来ビジョンの推進

要求額（一般会計、特別会計）996百万円（対前年度 53.4%）

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、物流・交流・産業に関する3つの将来像の実現に向け、平成28年度からの3カ年度を「北九州空港将来ビジョン推進強化期間」と位置づけた2年目を迎え、福岡県との緊密な連携のもと、更なる取組みの強化を図る。

- ・㊦ 北九州空港路線誘致事業、㊦ 北九州空港利用促進事業
- ・北九州空港航空貨物拠点化事業、北九州空港アクセス推進事業



（北九州空港全景）

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成29年度に実施することが確定しているものではありません。